

平成 20 年度

# 横浜市予算要望書

平成 19 年 12 月

公明党横浜市会議員団

平成 19 年 12 月 6 日

横 浜 市 長  
中 田 宏 殿

公明党横浜市会議員団  
団 長 仁 田 昌 寿

### 予 算 要 望 書

平成 20 年度の予算編成にあたり、公明党横浜市会議員団の最重点予算要望、重点予算要望をここにとりまとめました。

予算編成にあたっては、各項目の重要性をよく認識され、積極的かつ的確な対応を講じられるよう強く要望致します。

## < 目 次 >

|               |     |
|---------------|-----|
| 予算編成の基本姿勢について | P 1 |
|---------------|-----|

|           |     |
|-----------|-----|
| 最 重 点 要 望 | P 2 |
|-----------|-----|

《 行 政 》

《 福祉・子育て・医療 》

《 教 育 ・ 青 少 年 》

《 危 機 管 理 》

《 文化・芸術・国際 》

《 環 境 》

|         |     |
|---------|-----|
| 重 点 要 望 | P 7 |
|---------|-----|

I 行財政改革の推進

II 雇用・経済対策の拡充

III 福祉の充実

IV 教 育

V 生活環境の向上

VI 人権擁護の推進

VII 環境・衛生対策の推進

VIII 公共事業

IX 各区重点要望

## 予算編成の基本姿勢について

わが国の財政は、国と地方を合わせた長期債務残高が約 773 兆円にも上り、対 GDP 比 148% となり、先進国の中で最悪の状態とも言われております。また、2005 年より人口減少社会に突入し、世界のどの国も経験したことのない早さで少子高齢社会を迎えております。この困難な状況は、横浜市も同様であり、さらに本市では来年度は 200 億の財源不足が予想されるなど、市政運営においても厳しい舵取りを迫られております。

こうした中、市民の理解のもとで困難を乗り越えるために、何よりも求められることは、行政への市民からの信頼であります。そのためには、「先ず隗より始めよ」との言葉のごとく、責任あるものが襟を正し、行政のムダを徹底して省く不断の改革への取り組みが不可欠であります。

不祥事根絶への取り組みやコンプライアンスの確立も、真に市民の要請に応え得るものでなければ、厳しい市政運営について理解を得られるはずがありません。その上で、本格的な人口減少社会への準備を進めつつ、政策課題へ果敢に挑戦すべきと考えます。

未来に責任をもつ政治を目指す横浜市の公明党は、今春、新しい「人とまちのすがた」を提案する「横浜 21 ビジョン」を発表し、その実現のためにロードマップの策定作業を進めているところであります。

平成 20 年度は開港 150 周年を迎える前年となり、開港 150 周年を契機としてなお一層魅力ある横浜を構築するために重要な年度となります。

ハードパワーからソフトパワーの時代への転換が潮流となっているいま、協働精神を醸成し強靱なものにする地域の取り組みが、人にも街にも新鮮な息吹を溢れさせることとなります。

施策や事業の策定と実施には、「暮らしの現場」や「市民の目線」を忘れてはなりません。

横浜市においては、平成 20 年度予算において、私たち横浜市会公明党が市民とともに構築した、次に示す具体的な行政課題と新たな提案に対する真摯な取り組みを強く要望いたします。

# 最 重 点 要 望

## 《 行 政 》

1. 不祥事を根絶するための実効性ある組織体制を早急に整備されたい。
2. 開港 150 周年を契機とした「都市横浜」の再発展に向け、新市庁舎整備を含め関内地区など横浜都心部再整備のグランドデザインの検討を早期に行われたい。
3. 開港 150 周年を契機に市内米軍施設の返還が促進されるよう、国に強く要請されたい。
4. 深谷通信施設跡地利用については、恒久平和を祈念する追悼施設を備えた平和記念公園（仮称）として整備されたい。
5. 東部方面線は、国・県・市の連携のもと早期開業を図られたい。
6. 消防団員の労苦に報いるため、消防団員の報酬及び費用弁償の支給について具体化を図られたい。
7. 安全・安心な住民サービスを提供する観点から行っている収集車による安否確認を伴うふれあい戸別収集や狹隘路収集・防犯パトロール、乗務員の救急救命技術等の拡充・拡大を図るとともに、他の行政車両についても同様の取り組みを図られたい。
8. マンションなど建築物の構造偽装に関する市民の不安を解消するため、「建築・宅地指導センター」の相談機能を強化されたい。

## 《 福祉・子育て・医療 》

1. 敬老特別乗車証については、今後も社会参加だけでなく、外出支援を十分に実現できるよう図られたい。また、見直しについては利用者に十分な説明をし、合意形成を図られたい。
2. 高齢化の進む市営住宅については、コミュニティ再生の為に、住戸改善時にファミリータイプの導入と、子育て世代への優先入居の拡充を図られたい。
3. 小児医療費助成制度の対象を小学校 3 年生まで拡大し、所得制限の撤廃を図られたい。
4. 妊婦が安心して出産できるように、妊産婦健診の補助券枚数を現行の 3 回分から 10 回分へ拡充するなど、補助の増額を図られたい。
5. 私立幼稚園及び認可保育園での障害児教育の推進のため、障害児補助費の増額を図られたい。
6. 市内企業への子育て支援施策の取り組みの拡充を図られたい。
7. 幼児教育の重要性に鑑み、私立幼稚園就園奨励補助金を増額されたい。
8. 次世代育成支援対策推進法の地域行動計画の達成度を検証し、結果を公表されたい。さらに、男性の育児休業の取得促進や男性の出産休暇の取得を進めるため、市内事業者や受注企業等への啓発を促進されたい。
9. 分娩を扱う産婦人科病院の減少もあり、市大センター病院等ハイリスク分

娩を扱うことができる病院が、正常分娩の患者でほぼ満床となっている。身近なところで出産できる環境整備のため、分娩取扱い施設の増設を誘導する支援策を講じられたい。また、小児科の医療機関との連携を強化されたい。

10. 「小児救急電話相談」の深夜帯への業務拡大について検討されたい。
11. がん対策基本法の趣旨に則り、市のがん検診の存続と検診内容の充実を図ると共に、PET-CT、重粒子線治療などの検査・治療機器を整備されたい。
12. 肺がん検診については、他のがん検診同様、個別医療機関においても受診出来るようにされたい。
13. 看護師、助産師、介護ヘルパーなど不足する医療介護の特別養護老人ホーム等の高齢者介護施設の人材確保の為の支援策を講じられたい。

## 《 教育・青少年 》

1. 中学校に配置されているカウンセラーが、近隣の小学校も兼務したり、中学校規模に応じた配置などの工夫で、相談体制の強化を図られたい。
2. 社会人として必要不可欠な知識と態度（税の役割や納税の義務、年金などの社会保障制度、少子高齢化などの現代社会の特色と今後の福祉活動など）を小・中・高等学校の横浜版学習指導要領のなかに明確に位置づけ指導されたい。
3. 中学校での昼食については、スクールランチ方式のモデル実施を図られたい。
4. 小学校の英語教育の導入については、現在の国際理解教室のあり方、及び総合学習、各学校の教育課程編成上の問題点を検証し、人的配置・カリキュラム・教材等条件整備を進めた上で、国語力の向上と共に拡充されたい。
5. 子どもの安全確保のため、保育所、幼稚園、学校等教育施設の防犯対策をさらに強化するとともに、地域との連携を強化されたい。
6. よこはま若者サポートステーションの充実と方面展開を検討し、ひきこもり、ニート、フリーターなどの支援策を拡充されたい。
7. 外国籍児童生徒の増加に対応して、緊急時の通訳派遣制度の整備や母国語によるカウンセリング等を実施されたい。また、外国籍児童生徒の割合の多い学校の特有な課題に対して、個別の支援策を強化されたい。
8. 心臓しんとう等緊急な事故に対応するため、AED を全小中学校に配置されたい。
9. HIV 感染拡大の状況に鑑み、中・高校生への正しい知識の普及と、成人市民に対する検査勧奨をいっそう推進されたい。
10. 実効性のある「食教育推進計画」を策定し、保護者・地域と連携しながら推進されたい。

## 《 危機管理 》

1. コールトリアージの実施にあたっては、判定ミスによる不測の事態が生じないように、十分な事前検証や周知を行い、適切に運用されたい。
2. 新型インフルエンザを含む感染症対策について、広域的、全庁的に取り組むなど、更なる充実・強化を図られたい。
3. 緊急地震速報を公共施設や公共交通機関に導入し、緊急時の安全対策を強化されたい。
4. 災害現場の映像情報、消防車両等の動態位置管理情報を収集し、既存のシステムによる情報と合わせ、関係機関で共有するシステムを早期に整備されたい。
5. 法律で設置が義務づけられた住宅用火災警報機の普及に向け、周知徹底を図られたい。

## 《 文化・芸術・国際 》

1. 国際機関や NGO 等と連携した国際協力を更に推進するなど、ピースメッセンジャー都市として平和創出・貢献施策を展開されたい。
2. 大規模な国際会議を誘致するなど、国際交流集客都市を目指し積極的に施策を展開されたい。また、中国やインドなどアジアを中心とする海外諸都市との技術、人的交流を更に拡大するとともに、アフリカ会議を契機に本市とアフリカ諸国の国際協力の取り組みを強化されたい。
3. 横浜市の経済団体をはじめとした民間団体が進めている横浜インドセンター構想について、開設支援を強化されたい。また、アジアにおける横浜事務所の早期開設を進められたい。
4. 現代美術の国際展「横浜トリエンナーレ 2008」の実施に伴い、会場の常設化及び、事務局体制の恒常化・拡充を図られたい。
5. 2009 世界卓球大会の準備に万全を期すとともに、同時に障害者世界卓球大会を誘致されたい。

## 《 環 境 》

1. 地域防災拠点のエネルギー確保のため、太陽光発電システム等の自然エネルギーの導入を図られたい。
2. 家庭への新エネルギーの更なる普及促進のため、助成制度の拡充を図られたい。
3. 家庭における CO<sub>2</sub> 排出量削減を誘導するため、エコ・ポイントカード等、市民が楽しく参加できる独自の対策を早急に全市展開されたい。
4. 良好な住環境整備のために、横浜市独自の光害ガイドラインを早期に策定されたい。

# 重 点 要 望

## I 行財政改革の推進

1. 本市借入金への対応については、次世代に責任を持ち、今後も横浜型プライマリーバランスによる財政管理に努められたい。
2. 電子市役所推進計画に基づく文書管理、財務会計、庶務事務等内部事務の電子化を早急に進め、事務効率の向上と執行体制の迅速・効率化を推進されたい。あわせて実効性をあげるため、中間での検証も行われたい。
3. 横浜水道の歴史を知り、経験豊かな団塊世代職員の持つノウハウを継承されたい。また、バランスの良い人材構成の実現も検討されたい。

## II 雇用・経済対策の拡充

1. 地域経済活性化と雇用確保のため、引き続き、企業立地促進条例等による施策を拡充されたい。
2. 横浜型債券市場をさらに拡大し、福祉、環境、芸術文化の分野など、新たな民間資金の受け皿となる商品や仕組みの拡充を図られたい。
3. 厳しい雇用環境にある障害者、母子家庭の母親、ニート、フリーターの雇用支援策を更に拡充されたい。
4. 技能職の後継者育成への支援の拡充を図られたい。
5. 羽田空港再拡張後の就航範囲については、ASEAN 諸国を含む東アジアの主要都市をカバーするよう、国に対し積極的に働きかけられたい。

## III 福祉・医療の充実

1. 児童虐待防止のため、保育所・学校・病院等のネットワーク化と相談体制の確立や家庭復帰、就労支援等までを視野に入れ、総合的な体系で取り組みを拡充されたい。
2. 救命率向上ため、自動体外式除細動器（AED）の配置を更に推進されたい。また、設置については市民に身近で 24 時間使用可能な設置場所を検討されたい。
3. 引き続き待機児童ゼロを目指し、保育所の定員増を図るとともに、延長保育、休日保育、病児・病後児保育の更なる拡充を図られたい。併せて、幼稚園の預かり保育を拡充されたい。
4. 障害者の訪問医療（往診）の充実のため、「地域医療連携センター」に対する支援を強化されたい。
5. 身体・知的・精神障害者の自立支援に不可欠な作業所及びグループホームへの支援を引き続き強化されたい。
6. 救急・災害時における 24 時間対応の手話・筆記通訳派遣システムの設置実現に向け、引き続き積極的に取り組まれたい。

7. 市内総ての公共施設へ、オストメイト対応など多機能トイレの設置を普及促進されたい。
8. 精神科救急体制及び急患受診体制については、今後も引き続き充実に努められたい。
9. 災害時の精神医療確保対策（処方箋及び薬剤の保管・管理）について引き続き検討されたい。
10. 自立支援医療の申請時の医師意見書料を無料にされたい。
11. ハンディキャブの運行を 20 時以降も利用できるよう検討されたい。
12. 教職員に対する産業医巡回の対象校の更なる拡充を図られたい。
13. 市営住宅のバリアフリー化の促進とともに、障害者用の戸数を増加されたい。
14. 障害者自立支援法における障害程度区分の認定調査に際しては、身体機能面だけでなく生活面を重視するよう改善されたい。
15. 各区の障害者自立支援協議会を、障害者や家族の意見を反映できる仕組みに改善されたい。
16. 重症心身障害児者施設の増床増設を図られたい。
17. 介護予防事業における「口腔ケア」の充実や、障害者に対する歯科診療の拡充を図られたい。
18. 特別支援学校の教員に対する研修の充実を図られたい。

#### IV 教 育

1. LD、ADHD 等、特別な教育的支援の必要な児童生徒に対して、特別支援コーディネーター等による総合的な教育推進体制づくりを進められたい。
2. 肢体不自由特別支援学校に配置された正規看護師・嘱託看護師の宿泊を伴う行事への参加などがスムーズに実施できるよう図られたい。また、学識経験者や看護師等で構成する運営協議会を活用し、医療的ケア実施体制の整備を図られたい。
3. 私立幼稚園の預かり保育事業やはまっ子広場事業等に対する助成の更なる拡充を図られたい。
4. 各学校で、特色ある教育活動を主体的かつ積極的に展開していくために、地域参画型の「学校運営協議会」及び「学校評議員」の設置拡充を図られたい。
5. 読書運動を推進するため、学校図書館に司書資格を有する人員配置を更に拡充されたい。
6. 特別選考で採用された教員の効果を検証されたい。
7. 地域において、誰もが育児支援や介護支援に携わるための学習機会を豊かにするため、「地域子育て支援拠点」の設置や「地域ケアプラザ」の子育て支援活動への活用を図られたい。

## V 生活環境の向上

1. 電線共同溝の計画的実施と、生活道路への「ミニ共同溝」導入を促進されたい。
2. 地下鉄3号線の新百合ヶ丘へ向けた延伸を早期に実現されたい。
3. 市街化調整区域の見直しについては、土地利用の実態や地元市民意見を尊重した対応を図られたい。
4. 公図と現況のズレを是正する為の地積調査を早急に再開されたい。
5. 狹隘道路の後退用地部分（セットバック部分）の寄付を行う場合に必要な査定、整備については行政側が行い、分筆登記についても職権による手続きを行うよう対策を講じられたい。
6. 観光政策推進の観点から、多言語対応標識、案内用絵文字の整備を充実されたい。
7. 災害時避難場所に収容することの出来ないペットの避難場所を、上瀬谷通信所などの米軍施設を利用して設置されたい。

## VI 人権擁護の推進

1. 暴力等の深刻な人権侵害を受けている女性への支援策の一層の強化を図られたい。
2. 虐待防止、早期対応のため総合的な体制の強化を図られたい。

## VII 公共事業

1. 予定価格の事前公表は、積算能力のある企業の意欲を低下させ、健全経営の阻害要因となりかねないため、廃止の方向で検討されたい。
2. 予算価格は資材・労務費の市場価格の実勢を適正に反映されたい。
3. PFIについては、市内、中小・専門業者の活用を条件付けるなど、地元中小企業者育成を図られるとともに、本市の役割と責任を明確にされたい。
4. 横浜市の入札業者の選定基準に、環境への配慮、男女共同参画、障害者雇用、災害時の協力体制やワークルールの遵守など、いわゆるCSRの視点を加味されたい。
5. 横浜市との協定により地域社会に貢献している企業へのインセンティブ発注を更に拡大されたい。
6. 工事補償の入札参加条件に、「補償コンサルタント登録の要件を満たすもの」という項目を付加されたい。また、設計内容に対応した部門登録を有するか否かを指名条件として考慮されたい。
7. 横浜環状道路の南・北線、及び北西線の早期完成を目指すと共に、横浜環状道路関連街路の整備を地元企業に優先するよう図られたい。
8. 現在、見直し素案の策定を進めている都市計画道路（幹線街路）の早期事業化を進めると共に、幹線街路整備促進を図られたい。
9. 公共建築物の長寿命化対策の推進および既存施設の有効活用について、市民や地域ニーズを見極めながら、計画的に進められたい。

10. 民間の社会福祉法人等に対しても、市関連または市補助事業について、分離発注を徹底されたい。
11. 格付けのない塗装工事に、建築・土木工事同様の格付けを実施されたい。
12. 水道業務の民間委託化については、良質な公共サービスを確保されたい。

## VIII 各区重点要望

### 鶴 見 区

- ① 総持寺前踏切跨線橋、花月園前踏切跨線橋、古市場踏切跨線橋にエレベーターを設置されたい。
- ② 末吉大通りの電線地中化を早期に実現されたい。
- ③ ニツ池周辺の公園化を早期に実現されたい。
- ④ 岸谷エリア、生麦エリアに、それぞれのケアプラザの計画を作成されたい。
- ⑤ 直下型震災に備え、東部病院直近の鶴見川護岸に、船舶の停泊できる設備を完備されたい。

### 神 奈 川 区

- ① JR 大口駅のバリアフリー化を推進されたい。

### 西 区

- ① 貴重な都心部の親水空間である新田間川から帷子川を周遊する護岸をウォーキングコースとして早期に整備されたい。
- ② 現在計画されている東横線廃線跡地整備は、単なる歩行空間となっているため、高架上については魅力ある遊歩道として、高架下については地域の活性化を図るような施設として早期に整備されたい。また、旧桜木町駅舎側からの整備に加え、旧高島町駅側からの整備も進め、早期に供用開始ができるようにされたい。さらに、旧高島町駅周辺については供用開始前であっても、光のチェーンイベントやフリーマーケットなどのイベントのために、暫定利用できるようにされたい。
- ③ 横浜市総合福祉センター跡を利用し、西区に未整備である「区民文化センター・区民活動支援センター・子育て支援拠点・図書館（区版）・文化芸術関連施設」等の複合施設をPFI手法などにより整備されたい。
- ④ 廃止された野毛山公園プール地区の今後の利用計画について、地元の意見を踏まえ関係局で早期に検討されたい。
- ⑤ 横浜駅西口周辺地区の一般車道における待機タクシー混雑解消対策及び違法駐輪対策の推進を図られたい。また、河川を利用した新交通網の整備を推進されたい。

#### 中 区

- ① JR 山手駅のバリアフリー化工事にあたり、駅周辺整備を同時に実施し、地域のポテンシャルに見合った駅前づくり・街づくりを実現されたい。
- ② 石川町商店街を中心に始まった地域まちづくり活動と、JR 石川町駅北口駅前に計画される中華学校の建設を契機に、JR 石川町駅南北改札口の回遊性を高め、堀川河岸を生かした魅力溢れるまちづくりを推進されたい。
- ③ 神奈川県が建設中の新県民ホール、または新 NHK 横浜支社内に、地域の青少年の居場所や、生涯学習の場となる施設を開設するよう要望されたい。
- ④ 山手警察署隣接の国有地の利用計画を早期に明示し、住民意見の聴取を行われたい。また利用に当たっては、地域経済・文化の活性化に十分配慮されたい。
- ⑤ 本郷町ガス山の、東京ガス所有地を公園として整備されたい。
- ⑥ 中部下水処理場の運動場に、夜間照明を設置されたい。

#### 南 区

- ① 市営バス 79 系統について、蒔田駅以降の運行を継続されたい。
- ② 市営バス 219 系統について、みつが丘（旧港湾住宅跡）迄の延伸を図られたい。
- ③ 大岡高校跡地や旧公務員住宅跡地に整備が検討されている公園に、プレイパークを設置されたい。
- ④ 地下鉄蒔田駅へのエレベーター・エスカレーターの設置を促進されたい。

#### 港 南 区

- ① 上大岡地区における商業ビル等の建設促進及び駅周辺再開発事業の早期完成を推進されたい。
- ② 港南区総合庁舎の早期建設を推進されたい。
- ③ 速いペースでの高齢化が見込まれる港南区の実情を鑑み、日限山地域ケアプラザ、芹が谷地域ケアプラザの早期建設を推進されたい。
- ④ 放置自転車、バイクの路上駐輪が多く歩行の妨げになっている上大岡駅・港南台駅・上永谷駅で、自転車等放置防止監視員による指導強化や啓発の徹底など、対策の強化を図られたい。
- ⑤ 雨漏りによる腐食で建物・設備ともに傷んでいる老人福祉センター「蓬莱荘」の改修を早期に実施されたい。

#### 保土ヶ谷区

- ① 東海道本線岩間川橋梁及び金沢橋改修の早期整備など、今井川、帷子川の水害対策を早期に図られたい。
- ② 旧保土ヶ谷小学校跡地の有効活用を早期に検討されたい。
- ③ 東川島ランプ周辺の渋滞対策、安全対策を推進されたい。
- ④ 特に坂の多い交通不便地域にコミュニティバス等を導入されたい。

旭 区

- ① 西谷駅～二俣川駅間の立体交差化を推進されたい。
- ② 中山駅以西の環状鉄道事業化を推進されたい。

磯 子 区

- ① 杉田地区に提案されている焼却灰再利用施設計画については、地元の声を十分に反映、尊重されたい。
- ② 旧横浜プリンスホテル跡地に計画されている大型集合住宅建設について、車両や人口増加に対応する社会資本整備等の検討を本格化されたい。
- ③ 市営バス 293 系統について、代替策が決定・施行されるまで運行を継続されたい。

金 沢 区

- ① 金沢区のすべての駅にエスカレーター・エレベーターを設置されたい。
- ② 町のバリアフリー化を推進されたい。
- ③ 金沢区文化ホールの設置を推進されたい。
- ④ 各駅の駐輪場を整備促進されたい。
- ⑤ 金沢文庫駅西口拡幅のため、谷津川の早期整備を図られたい。

港 北 区

- ① 区民センターの早期建設を図られたい。
- ② 新横浜・岸根周辺の下水道未整備地区の早期解消を図られたい。
- ③ JR 菊名駅・地下鉄新羽駅に駐輪場を設置されたい。
- ④ 鳥山地区、新横浜 1 丁目地区に雨水幹線整備による浸水対策を図られたい。
- ⑤ JR 新横浜駅の早期整備とバリアフリー化を実施されたい。
- ⑥ JR 菊名駅のバリアフリー化を推進されたい。

緑 区

- ① 長津田駅北口・中山南口地区の再開発事業を促進されたい。
- ② 緑区民文化センターの早期整備を図られたい。
- ③ 長津田駅南口前広場の早期整備とバリアフリー化を実施されたい。
- ④ JR 横浜線における踏切の安全確保と、渋滞対策及び連続立体化を検討されたい。

青 葉 区

- ① 「災害時要援護者」いわゆる災害弱者への支援体制システムを早期に構築されたい。
- ② 地域の人材である団塊の世代の方々の経験と活力が発揮できる場や仕組み作りを推進されたい。
- ③ 国道 246 号線江田交差点の渋滞を解消されたい。

- ④ 青葉区奈良に新たに消防署を整備されたい。
- ⑤ あかね台ー長津田駅間のバス路線の新設、あざみ野ー元石川高校路線バスの増便、更に交通不便地域（奈良など）に住民との協働による地域サポートバスの運行など、地域の実情を加味したバス路線の充実を図られたい。

#### 都 筑 区

- ① 区民ホール・区民文化センターの建設を図られたい。
- ② 国際プールと北山田駅を循環するバス路線を早急に設置されたい。
- ③ 市道丸子中山茅ヶ崎線を早期に整備されたい。
- ④ 地下鉄 4 号線の東山田駅、川和町駅周辺の整備を促進されたい。

#### 戸 塚 区

- ① 国道一号線「原宿交差点」の早期完成と、「不動坂交差点」改良を戸塚駅周辺整備と連動させ、JR 戸塚駅「大踏切」解消の都市計画道路建設事業に合わせ同時完成を図られたい。
- ② 戸塚駅西口再開発事業の第二期工事に位置づけられている戸塚区役所及び文化施設について、区民や有識者等の意見を十分に取り入れ、創造都市・横浜に相応しい機能を有した施設として、目標年次内の完成を図られたい。
- ③ JR 東海道線の東戸塚駅停車の実現と湘南新宿ラインの東戸塚駅停車本数の増加を実現されたい。
- ④ 東戸塚駅周辺地区に区民利用施設を早期に整備されたい。
- ⑤ 桂町戸塚遠藤線など区内の都市計画道路整備を促進されたい。

#### 泉 区

- ① 日米合意がなされた深谷通信施設の早期全面返還と跡地利用について、積極的な国への働きかけを講じられたい。跡地利用については、広くアイデアを募るとともに地元意見にもできる限り配慮されたい。
- ② 神明台処分場の供用は、予定通り 22 年度までで終了されたい。跡地利用については、市民スポーツ施設の整備や、緑の確保を図られたい。
- ③ 地下鉄立場駅出口の増設、駅周辺のバリアフリー化（特に歩行者空間の確保）など、郊外部の重点地域に指定し、再整備を図られたい。
- ④ 区域の 2 分の 1 を占める市街化調整区域の緑の確保策、開発等の新たなルール化を図るとともに、下飯田、ゆめが丘駅周辺については、区画整理事業の促進に向け、積極的に取り組まれたい。
- ⑤ 緑園地区に新しい制度などを活用した公立中学校の開設に向け、検討を図られたい。

栄 区

- ① 県道 原宿六浦線の拡張を早急に実施されたい
- ② 鎌倉街道の整備を促進し、公田一本郷石橋間の混雑緩和を図られたい

瀬 谷 区

- ① 瀬谷区文化センター(仮称)を早期に整備されたい。
- ② 民間バス会社と連携して、区内バス路線の充実を図られたい。また、小型バスや乗合タクシーなどの導入も視野に交通網の整備を図られたい。
- ③ 環状 4 号線(海軍道路)と旧国道 16 号との交差点の立体交差や、瀬谷・柏尾道路、かまくら道などの拡張をはじめ区内幹線道路の整備を図られたい。
- ④ 米軍上瀬谷通信施設の早期返還と、地権者及び地元意見を反映した跡地利用の推進を図られたい。
- ⑤ 横浜市アレルギーセンターの跡地を医療・福祉等の総合拠点として整備されたい。